

UVSOR40周年記念行事報告

表題の記念行事を12月1日―3日の3日間にわたり、岡崎コンファレンスセンターとオンラインのハイブリッドにて開催しました。

初日は渡辺所長のご挨拶、文部科学省基礎基盤研究課長西山氏の祝辞に始まり、記念講演会として6件のご講演をいただきました。その後の祝賀会では地元愛知12区よりご選出の衆議院議員青山周平様にもお越しいたいただき、応援のメッセージをいただきました。歴代のスタッフやユーザーの皆様との温かな懇談であったという間の2時間でした。二日目からは、年1回開催している定例のユーザー成果報告会を記念行事に組み込み、UVSOR

シンポジウム2023を開催いたしました。あわせて第6回次期施設建設検討会として、我々の目指す生命科学と光科学の異分野融合の実現にむけて、特別企画講演「バイオ系における光科学の展開」を設けました。バイオ系の光計測分野を牽引されている7名の先生方にご講演をいただき、パネルディスカッションで目指すべき方向性について科学目標と組織論について議論を深めました。

UVSORの40年は1983年の11月10日にいわゆる初点を発振してからの、放射光施設の運転期間をカウントしたものです。今回、40周年記念冊子として、これまでの「40年の冒険、これからの

挑戦」を発行しました。さらに次期計画の具体的な内容について、コンセプトデザインレポートを合わせて発行いたしました。いずれもpdf版にてweb上で公開しております（QRコード）。今後のUVSORの挑戦を是非とも応援していただき、忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。

最後に、1年間にわたる準備段階からお世話になった関係者の皆様にこの場をお借りし御礼申し上げます。

(解良 聡 記)



各レポートのリンク先



放射光60周年記念シンポジウム報告

日本の放射光利用研究は、60年前に田無市の東京大学原子核研究所の電子加速器に寄生する形で始まりました。その成果を踏まえて、東京大学物性研

究所が電子加速器を入射器として使った世界初の放射光専用小型施設SOR-Ringを建設し、1976年から利用がはじまりました。さらに1982-3年に

世界最高エネルギーの専用施設として、高エネルギー物理学研究所のフォトンファクトリー（PF）、化学分析研究を志向した分子科学研究所のUVSORが